

株式会社三菱総合研究所 第 51 回定時株主総会
2020 年 12 月 18 日 10:00～
質疑応答（要旨）

1. 今年スーパーシティ法が成立したが、IT・技術に強みを持つ MRI として、どのようなアプローチを考えているか、もしくは既に実績があれば紹介してほしい

モビリティ、ヘルスケア、エネルギーといった分野で、DX（デジタルトランスフォーメーション）を用いながら横断的な企画を進めており、中期経営計画 2023 の期間中には何かしらの形とすることを目標としている。2025 年大阪万博に向け、スマートシティに関する提案も行っており、今後進捗等報告させていただきます。

2. 三菱グループ内の各種研究機関を統合することで、より強い体制となるのでは

それぞれ出自、専門分野が異なるが、各機関連携しており、得意分野・不得意分野を互いに補完しつつ、総合力を発揮していく。

3. DX 事業に注力されるとのことだが、MRI の子会社の役割分担、今後の戦略は

DX（デジタルトランスフォーメーション）は、世の中を変える、社会を変革する大きな力を持つ仕組みと捉えている。紙の書類、現金での支払い、実対面でのやり取りなどを、電子化ツールを用いて効率化していくことがデジタル化だが、社会課題解決企業である当社は、DX による社会そのものの変革に寄与していきたい。企業のデジタル化については、業務の効率化にとどまらず、企業のサービスや製品そのものを変えていくこととであり、そうした支援を通じ、当社のサービスと収益力の高度化を両立させていく。子会社各社については、MRI の強み（金融、政府・行政）と個社の強みをうまく連携させることで、DX 事業戦略を展開していきたい。

4. 高学歴でなくても高い能力を持つ人材がいるのではないかと。そういった人材を発掘、活用されてはどうか

これまで強みである科学技術系人材を多く採用してきたが、新経営理念を実行するためには、多様な人材を獲得していかなければならないと考えている。ダイバーシティを引き続き高め、イノベーションに繋げていきたい。三菱グループとしても 150 周年記念事業として優秀な中高生を育成する「未来育成財団」を創設しており、当社はその活動の支援も行っている。

5. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会への来場を控えるよう招集通知に記載があるが、総会の模様をインターネットでストリーミング配信すべきと考える。このような社会情勢下、会社の状況を確認したい株主が多いのではないか

今回制限のある開催とせざるを得なかったが、総会終了後に提出する臨時報告書に詳しく記載することで、今回ご参加いただけなかった株主様にも内容をご理解いただく。また、当社ホームページなど、各種媒体を通じてみなさまのご理解を深めていきたい。ホームページでは、感染症に関する研究やポストコロナの姿、経済への影響など様々な情報発信も行っており、こちらも是非ご覧いただきたい。